

效範連区地域力向上委員会

グループ名 (ご近所交流サロングループ)

146

事業実績調書

グループ名 (防 災 グ ル ー プ)

(1) 事業の名称		地域防災力向上事業		
(2) 事業内容・結果 (実施場所、方法、参加人数等を具体的に記載。)				
月	日	参加者数	開催場所	実施内容
11	19	2,510世帯	各世帯・組・町内会	大規模地震を想定し、各世帯において自らと家族の命を守る訓練を実施した。 また、防災助け合いマップをもとに「組集合場所」への集合訓練を実施するとともに、安否確認訓練として各世帯が玄関付近に掲出した「安否札」の掲出状況を各組・町内会ごとに集約した。
		160名	効範・東山小学校体育館	消火器による初期消火訓練、応急担架の作成訓練及び避難所の開設・運営訓練等を実施した。
 避難所開設訓練  応急トイレ設営訓練  初期消火訓練				
(3) 事業の成果				
① 大規模地震を想定して組集合場所への集合訓練、安否確認訓練、初期消火訓練及び避難所運営訓練教材等を使った避難所開設訓練を実施することにより、住民の防災意識の高揚と併せて地域防災力の向上を図ることができました。 なお、応急トイレ設営訓練を初めて実施しましたが、避難所におけるトイレ対策の重要性とともに、各家庭でのトイレ対策 (備え) の大切さを啓発することができました。 ② 昨年度作成した防災助け合いマップを活用した「組集合場所」への集合訓練を行うことにより、地域防災力の要である隣近所の皆さんの助け合いやつながりの大切さを改めて認識することができました。				
(4) 事業の実施における問題点や課題				
① 避難所開設・運営訓練については、備蓄資機材の取扱い訓練にとどまり、実践的な避難者の受け入れ訓練には至っていません。 今年度配備した避難所運営訓練教材を活用しながら、連区内の各種団体と連携・協力してシリアスな避難所の開設・運営訓練に取り組んでいく必要があります。 ② 昨年度作成した「防災助け合いマップ」については、住宅の新築や取り壊しをはじめとする地図情報の改変や組再編の実態に合わせて組集合場所を見直すなど定期的な修正 (再配布) が必要となります。				

- ・開催内容が分かるチラシや案内文、写真があれば合わせて提出して下さい。
- ・参加者数は世話人(スタッフ)を含めた数を記載して下さい。

事 業 実 績 調 書

グループ名 (環境グループ)

(1) 事 業 の 名 称		効範連区環境整備活動		
(2) 事業内容・結果 (実施場所、方法、参加人数等を具体的に記載。)				
月	日	参加者数	開催場所	実 施 内 容
4	8	4	かもが池	かもが池公園除草作業
5	13	3	かもが池	かもが池公園除草作業
	20	190	瀬戸川河川敷	オオキンケイギク駆除
6	10	5	かもが池	かもが池公園除草作業
7	8	3	かもが池	かもが池公園除草作業
8	13	3	かもが池	かもが池公園除草作業
9	9	4	かもが池	かもが池公園除草作業
	24	80	東山町2丁目ちびっこ広場	アニマル除草お別れ会
10	14	3	かもが池	かもが池公園除草作業
11	11	4	となりの森	間伐作業
	26	150	連区内クリーン作戦	連区内清掃活動
12	10	3	となりの森	ブルーベリー植栽
2	10	3	となりの森	間伐作業
3	16	4	かもが池	かもが池公園ニセアカシア除伐作業
3	23	3	かもが池	かもが池公園除草作業
(3) 事業の成果				
・かもが池公園にブルーベリーを植栽しました ・オオキンケイギク駆除活動も数年経ち 気持ち減ってきたような気がします				
 除草中  除草後  ブルーベリー植栽  ニセアカシア除伐				
(4) 事業の実施における問題点や課題				
・なかなかメンバーが増えません				

・開催内容が分かるチラシや案内文、写真があれば合わせて提出して下さい。

・参加者数は世話人(スタッフ)を含めた数を記載して下さい。

事業実績調書

グループ名 (事務局)

(1) 事業の名称		地域力向上活動事務局費		
(2) 事業内容・結果（実施場所、方法、参加人数等を具体的に記載。）				
月	日	参加者数	開催場所	実施内容
5	24	34	効範公民館	5年度の運用について説明及び助成金配分 瀬戸警察署生活安全課職員による講話 「STOP特殊詐欺」
1	31	21	効範公民館	5年度事業報告及6年度活動実施意向について 中部電力パワーグリッド株式会社による講和 「でんきの安心・安全」
(3) 事業の成果				
各グループとも活動が活発化してきており、コロナ禍の以前の状態に戻りつつあり、全体として予想以上の成果が得られたと思われる。				
(4) 事業の実施における問題点や課題				
コロナが明けたことを契機としていかにして参加者を増加させ、持続的な活動を展開させていくかが課題となっている。 補助金について、補助金の対象となる活動費用のうち、食糧調達費について年間の上限額が30,000円とされているが、活動の回数や参加者の数が多いグループと少ないグループともに30,000円であることは不公平感があり、何らかの対応を考慮してほしい。現状ではオーバー分は参加者の負担金、町内会からの補てん、連区自治会からの助成金により対応しており、活動が活発なグループほど不利益となる状況となっている。。				

- ・開催内容が分かるチラシや案内文、写真があれば合わせて提出して下さい。
- ・参加者数は世話人(スタッフ)を含めた数を記載して下さい。

今池町元気クラブ 出張出前講座 1



今池町元気クラブ 出張出前講座 2



南山町2・3丁目交流カフェ
効範小学校のバトン部を招きました。



南山町2・3丁目交流カフェ ハロウィン飾りづくり



川北町ふれあい15の会 認知症予防体操



川北町ふれあい15の会 セタ祭りの飾りづくり



原山台地域力向上委員会

事業実績調書

グループ名 (あいさつ運動)

事業内容 (必要に応じて欄の大きさを変えてください。)

(1) 事業の名称	原山台地域力向上委員会 あいさつ運動
(2) 事業内容・結果 (実施場所、方法、参加人数等を具体的に記載。)	
” 明るい原山台 ” を目標に掲げ、少年センターや民生児童委員、各自治会、PTA、寿会などのみなさんの協力で、原山小学校・光陵中学校の始業式、終業式などを中心に小中学校の校門付近で「あいさつ運動・見守り活動」を7回行い、光陵中学校で「ふれあい美化運動」を2回実施しました。また、原山小学校の教員と相談して児童に標語をお願いし、優秀2作を選定した後のぼり旗を製作し本地域内に設置しました。一方、標語を作っていただいたお礼に「花いっぱい運動」の一環として同小正門脇の花壇にパンジーやチューリップを2回植えました。さらに、街頭指導を夏休みに9日間、春休みに2日間実施し、子どもの健全な生活状況を確認しました。 あいさつ運動の旗 (2月28日) 学校の正門付近に、あいさつ運動の標語が記載されたのぼり旗があります。地域の少年センターの方が、今年度の6年生代表児童の作品の旗に交換していただきました。ありがとうございました。	
(3) 事業の成果	
今年度も原山小学校・光陵中学校でのあいさつ・見守り運動を実施することができました。また、原山小学校では児童によるあいさつ運動の標語の選定とのぼり旗製作、光陵中学校ではふれあい美化運動なども予定どおりできました。これらの活動を通じて、本地域内の小中学校や児童・生徒、保護者、そして地域力向上委員会が連携して子どもの成長を見守り、健全育成を図ることができました。	
(4) 事業の実施における問題点や課題	
既成の事業は、少年センターと本地域内の各団体が協働して実施しておりそれなりの効果を発揮していますが、独自企画のための住民の関心度やボランティア確保の困難さが課題です。また、2年後の菱野団地内3小学校の統合と原山小学校廃校に伴い、当該事業の継続や独自企画などの検討は喫緊の課題であると考えます。	

第8号様式 別紙1

事業実績調書

グループ名（ にっこりカフェ ）

事業内容（必要に応じて欄の大きさを変えてください。）

(1) 事業の名称

原山台地域力向上委員会 にっこりカフェ

(2) 事業内容・結果（実施場所、方法、参加人数等を具体的に記載。）

原山台地区社協を中心に、寿会、保健推進員のみなさんに協力いただき、毎月2回原山台集会所で「にっこりカフェ」を開催しました。コーヒーや抹茶、お菓子を提供し、高齢者を中心に地域のみなさんの語らいの場と楽しんでいただきました。令和5年5月から令和6年3月までの来場者は18回開催で575名でした。

また、原山保育園・真貴幼稚園児の慰問による歌や遊戯の披露があったり、保健推進員の協力で骨密度測定があり、多くの人に受けていただきました。



(3) 事業の成果

月2回のうち第4金曜日は令和5年5月26日から、第2日曜日は同年9月10日から再開することができ、コロナ禍による中止前の賑わいが戻ってきました。また、本地域内の幼保育園児や保健推進員の訪問のほか、今年度は萩山台の市民活動団体によるごみ減量の講義や瀬戸警察署による詐欺防止の講和なども行われ、この場が地域活動の拠り所のひとつになっています。

(4) 事業の実施における問題点や課題

現状では、毎月第4金曜日は高齢者の参加が多く、第2日曜日は家族連れの参加も多少見られます。ただし、生産年齢人口を構成する成人男女の参加が見られない点が課題です。また、主催する地区社協や寿会の構成員も高齢化しており、参加者やボランティア要員の拡大も図っていかねばなりません。

事業実績調書

グループ名（ 広報誌 ）

事業内容（必要に応じて欄の大きさを変えてください。）

(1) 事業の名称 原山台地域力向上委員会 広報誌

(2) 事業内容・結果（実施場所、方法、参加人数等を具体的に記載。）

広報部は、「はらやまだい通信」を通じ地域力向上委員会の活動を広く地域住民のみなさんにお知らせするとともに、共助である地域力への理解を深め各事業への参加と理解を促しました。

「はらやまだい通信」の発行実績は、以下のとおりです。

・全戸配布(約2,000部) 4回発行(令和5年6月号、9月号、令和6年1月号、4月号)

また、地域力向上委員会のホームページを随時更新しました。この際、全体構成を見直すとともに過去のはらやまだい通信を見られるようにしたり連合自治会の活動を紹介したりしました。



(3) 事業の成果

「はらやまだい通信」は、本地域の重要な情報伝達手段で住民には好評です。本年度も4回発行できさまざまな地域情報を提供することができました。
また、地域力向上委員会のホームページを更新し、デジタルを活用した地域内外向けの情報発信をすることができました。

(4) 事業の実施における問題点や課題

「はらやまだい通信」の編集や発行は、現在特定の部員やスタッフで行っており、人材不足は否めません。また、地域の若い世代向けにSNSを活用した情報発信も課題になっていますが、これも携わるスタッフや情報ソースの確保が難しく足踏み状態です。

第8号様式 別紙1

事業実績調書

グループ名（ お助けたい ）

事業内容（必要に応じて欄の大きさを変えてください。）

(1) 事業の名称

原山台地域力向上委員会 お助けたい

(2) 事業内容・結果（実施場所、方法、参加人数等を具体的に記載。）

平成28年7月に発足した「お助けたい」も地域住民のみなさんに認知され、依頼仕事も順調に増えてきました。しかし、今年度もコロナ感染症拡大を受け活動は休止状態でした。

- ・ 繰越件数 14件
- ・ 実施件数 1件

(3) 事業の成果

この活動は、高齢者宅には大変好評を頂いています。しかし、コロナ感染の影響もあり活動の自粛が続けざるを得ない状況でした。
今年度の実績は、依頼家庭の都合で急ぎの1件のみでした。

(4) 事業の実施における問題点や課題

地域住民の高齢化は年々進み、お困りごとが増える中で「お助けたい」ボランティアの高齢化も避けられず活動できる人が減っています。「お助けたい」の世代交代が急がれ、次年度は部会長の交替も含め対応を検討していきます。

✓

事業実績調書

グループ名（ マルチ文化交流 ）

事業内容（必要に応じて欄の大きさを変えてください。）

(1) 事業の名称	原山台地域力向上委員会 マルチ文化交流
(2) 事業内容・結果（実施場所、方法、参加人数等を具体的に記載。）	
 	今年度は、部会のロードマップに従い”相互理解”を目標に活動を行いました。主な活動結果は以下のとおりです。 ・毎月第1土曜日10時に定例部会を開催しました(4、8月除く)。毎回5人程度参加。 ・スペイン人、ベトナム人、ペルー人へのインタビューを実施し、「はらやまだい通信」に記事を掲載しました(3回)。 ・マルチ文化交流会(6月、20人参加)と原山台ハッピーフェスタ(12月、50人参加)を開催し、いずれも日本人住民と外国ルーツの住民が一緒になってゲームや会食を通じ交流を深めました。 
(3) 事業の成果	
今年度はかねてより懸案であった日本人住民と外国ルーツの住民との交流会を2回開催することができました。これにより、国籍の異なる住民同士が直に会い話をすることができました。また、本地域内で開催させているスペイン語教室の関係者や大学生などと連携することでイベント企画が充実したものになりました。	
(4) 事業の実施における問題点や課題	
多文化共生は本地域における喫緊の課題ですが、地区住民の関心は必ずしも高くありません。また、外国ルーツの住民のコミュニティへのアクセスは容易ではありません。本部会では、こうした問題を抱えながら少しずつ活動を行ってきました。コロナ禍が明けようやく交流会を開催でき、今後はこうした活動を継続しさらなる参加者の増加を図っていきます。	

事業実績調書

グループ名（ 憩いの場づくり ）

事業内容（必要に応じて欄の大きさを変えてください。）

(1) 事業の名称	原山台地域力向上委員会 憩いの場づくり
(2) 事業内容・結果（実施場所、方法、参加人数等を具体的に記載。）	
令和3年1月から開設した「将棋と囲碁のにっこりハウス(毎週火曜日10:00～)」と「子どもとママとじいじとばあばのにっこりハウス(毎週水曜日10:00～)」を引き続き原山台集会所で実施しました。実績は以下のとおりです。 ▶「将棋と囲碁のにっこりハウス」 開催回数 48回(うち5回は子ども将棋教室) 延べ参加人数 168名(小学生3名、中学生1名含む) ▶「子どもとママとじいじとばあばのにっこりハウス」 開催回数 48回 延べ参加人数 子ども80人、ママ&ばあば220人 ▶「健康マージャンのにっこりハウス」(毎週火曜日10:00～、原山台集会所) 開催回数 48回 延べ参加人数 442人   	
(3) 事業の成果	
3つの「にっこりハウス」は、毎週原山台集会所で行っており定着しています。このため、本部会での活動は、地域コミュニティの根幹となる住民同士の交流や活動に大いに貢献しています。また、参加者の中には若い子育て世代の住民もあり、高齢者とともに地域活動に参加するきっかけを作っている効果があります。	
(4) 事業の実施における問題点や課題	
本部会の活動範囲は広がっていますが、参加者やスタッフが固定化する傾向にあります。そのため、いかに男性高齢者を巻き込むかが課題です。さらに、育児や健康などの相談が気軽にできる専門家も含めた体制の整備が求められます。	

事業実績調書

グループ名 (さわやか体操)

事業内容 (必要に応じて欄の大きさを変えてください。)

(1) 事業の名称	原山台地域力向上委員会 さわやか体操
(2) 事業内容・結果 (実施場所、方法、参加人数等を具体的に記載。) 本部会は、今年度から活動をスタートしました。毎週月～土曜日の9:30～10:00原山台集会所でラジオ体操を行いました。また、水曜日はラジオ体操の指導資格を持つ方からストレッチ体操を交えて体操の指導を受け健康づくりに取り組みました。毎回10名前後の方が参加し、年間を通じて1回も欠くことなく活動を続けました。 	
(3) 事業の成果 本部会の活動は従来「憩いの場づくり」部会で行っていましたが、今年度は独立し新たな部会となりました。天候に左右されず年間を通じて活動ができたことは一番の成果です。地域住民の健康に対する関心度は高く、こうした日常の手軽な運動を通じて住民の健康づくりに寄与できました。	
(4) 事業の実施における問題点や課題 ラジオ体操には、毎回10名前後の参加者がおり活動は定着していますが、新たな参加者の獲得や健康づくりに対する地域住人への呼びかけを継続していく必要があります。そのため、機会あるごとに活動をPRしひとりでも多くのラジオ体操参加者を増やしていきます。	

✓

第8号様式 別紙1

事業実績調書

グループ名（自ら考え備える防災・防犯）

事業内容（必要に応じて欄の大きさを変えてください。）

(1) 事業の名称

原山台地域力向上委員会 自ら考え備える防災・防犯

(2) 事業内容・結果（実施場所、方法、参加人数等を具体的に記載。）



今年度は、原山台連合自治会に協力し8月5日夜間に「自主防災訓練」を、11月19日に「市総合防災訓練」を実施しました。そこでは、各家庭の安否確認札の掲示や小学校体育館で避難所運営訓練を行いました。また、12月27日には「年末防火・防犯パトロール」への参加協力をしました(約50人参加、4班で行動)。

さらに、同連合自治会と協同で「地区防災計画」を策定するとともに、令和6年1月には「能登半島地震に学ぶ」をテーマに「はらやまだい通信」特別号(2,000部)を発行し、地域住民の防災意識啓発に努めました。

(3) 事業の成果

今年度も原山台連合自治会に協力し、夜間の「自主防災訓練」や「市総合防災訓練」を実施することができました。また、年末防火・防犯パトロールを実施し多くの自治会や地域力向上委員会のメンバーが参加しました。これらを通じ、住民の防災防犯意識向上が図られました。また、同連合自治会と協同で懸案だった「地区防災計画」を策定するとともに、本年1月に発生した能登半島地震の直後には独自の防災チラシを発行しました。これにより、本地域区住民により身近な話題提供と啓発ができました。

(4) 事業の実施における問題点や課題

現在日本各地で地震が発生しており、「東南海沖地震」を想定した大規模災害に向けた防災対策はこの地区でも喫緊の課題です。そのため、本連合自治会と協同で策定した「地区防災計画」のアクションプランづくりやより実践的な防災訓練の実施、日ごろからの住民への啓発活動など防災対策の課題は山積しています。

一方、本地区でも詐欺や盗難などの被害が増えており、防犯大会の開催など地域一体での防犯対策が求められています。

✓

事業実績調書

グループ名（事務局）

事業内容（必要に応じて欄の大きさを変えてください。）

(1) 事業の名称	原山台地域力向上委員会 事務局
(2) 事業内容・結果（実施場所、方法、参加人数等を具体的に記載。） 毎月第4水曜日に「原山台地域力向上推進会議」を原山集会所で開催してきました（8月、12月除く）。また、原山台連合自治会と地域力向上委員会の代表者等が集まり、お互いの活動の連携等を話し合う「連自地域力運営会議」を毎月開催しました（4月、8月、1月除く）。また、コープあいちの協力のもと「移動販売」を毎週水曜日14:30～15:30同集会所で行いました。実績は以下のとおりです。 ▶営業回数 47回、利用者数 861名、売上金額 1,605,493円 さらに、本地域力向上委員会の関係団体や各部会が合同で活動紹介や地域住民との交流を目的にしたイベント「第1回原山台地域カフェスティバル」を3月に原山台集会所で開催しました。当日は約100名の参加があり、体験プログラムや講演会等に興じていました   	
(3) 事業の成果 原山台地域力向上委員会は、関係団体と住民有志の部会で構成されています。毎月の推進会議には各団体の代表者と各部長が参加し各々の活動報告や問題点の協議などを行っており定着してきました。また、今年度から始まった連自地域力運営会議では、共通な課題（防災、交流など）を話し合っており事業がスムーズに展開できるメリットがあります。 移動販売は今年度も売り上げが好調で、住民ニーズに合った事業だと言えます。 地域カフェスティバルは第1回であり実行委員会による手作りのイベントでしたが、参加者には好評で新たな交流機会の提供に一役買いました。	
(4) 事業の実施における問題点や課題 地域力向上委員会は、本地域内の関係団体と住民有志によるボランティア組織であり、連合自治会とは補完関係にあります。従って、お互いの組織の特長を生かしながら連携することが肝要です。当面、防災や交流は共通の課題でありこれらを軸に活動を行っていきます。 ただし、事業実施の過程で携わる人材は限られており新たな展開は難しい状況です。 お互いの事業の企画や実施の過程で丁寧な話し合いをし、協力体制を構築することが求められます。	

掛川地域力向上委員会

第8号様式 別紙1

事業実績調書

グループ名（事務局）

事業内容（必要に応じて欄の大きさを変えてください。）

(1) 事業の名称	事務局運営事業
(2) 事業内容・結果（実施場所、方法、参加人数等を具体的に記載。）	
・会議等の開催 総務会（6回）、役員会（5回）運営委員会（4回）の開催をした グループ会議、「かけがわっこ子ひろば」の運営にかかる各種会議を随時開催した ・運営委員懇親会7/7（下半田川町民会館ホール）30名参加 ・「交流フェスタ2023 in パルティセと」 8名参加	
(3) 事業の成果	
・総務会、役員会を開催することで、地域力向上委員会の各種事業を協議することができた ・グループ会議や「かけがわっこ子ひろば」の運営にかかる打ち合わせができた ・少子化により地域の活性化（育成）を今後検討することとした	
(4) 事業の実施における問題点や課題	
・笛祭りの開催について笛の不作などで日付が特定できないため、祭りを中止した。 ・少子化により地域の活性化（育成）を今後検討することとした	

第8号様式 別紙1

事業実績調書

グループ名（ 広報 ）

事業内容（必要に応じて欄の大きさを変えてください。）

(1) 事業の名称	広報事業
(2) 事業内容・結果（実施場所、方法、参加人数等を具体的に記載。）	
・広報誌「やまびこ」56号から61号までの6回、及び号外3回を発行した ・会員の声、地域のミニ情報・自然情報なども必要に応じて取り上げた ・視覚を訴える広報誌を意識して画像を多く取り入れるとともに号外以外はカラー印刷とした ・コミュニティグループと協働で「掛川の生きものたちと風景」について合同会議を行った ・HP「瀬戸発！まるっと地域力」に広報誌「やまびこ」などを投稿し、地域力の活動を発信した ・コミュニティグループと協働で「掛川のいきものたちと風景」の冊子を発行した	
(3) 事業の成果	
・広報誌「やまびこ」を発行しお知らせと広報啓発活動ができた ・掛川の自然をテーマにした本づくり（コミュニティとのグループ協働事業）で合同会議を開催し、「掛川の生きものたちと風景」の冊子を発行することができた。	
(4) 事業の実施における問題点や課題	
・事業の実施を事前にお知らせをしたいが、現在「広報誌」は隔月発行のため結果として載せている ・	

第8号様式 別紙1

事業実績調書

グループ名（子育て支援）

事業内容（必要に応じて欄の大きさを変えてください。）

(1) 事業の名称	子育て支援事業
(2) 事業内容・結果（実施場所、方法、参加人数等を具体的に記載。）	
・児童の登下校の見守り（地域の見守ボランティアおよそ20名） ・学校サポーターによる学習田のサポート（5/25田植え、10/11稲刈り、10/26脱穀、粃摺り1/25餅つき） ・学校サポーターによる環境整備（学校周辺草刈り5/28.7/8 親子環境整備8/20） ・かけがわっこ子ひろば運営のサポートを保護者と連携して活動した ・ステーション回収 年4回（5, 8, 11, 2月の各初旬土曜日） ・親子環境整備作業8/21 ・里山体験（ジャガイモ植え付けと収穫、サツマイモ植え付けと収穫、焼き芋）延べ75名参加 ・絵付け教室（クリスマスランプシェード作り）参加者25名	
(3) 事業の成果	
・児童の登下校時の安全に留意し毎日見守りを行った ・環境整備、学習田サポート、各種行事への参加など、地域の方々と学校・保護者が連携し、活動した ・里山体験で、掛川の自然を身近に感じて貴重な体験ができた。 ・地域の人とのかかわりや子供同士の触れ合いができた	
(4) 事業の実施における問題点や課題	
・里山体験ができる場所や内容の検討 ・地域の子供が少なくつながりのある（交流のある）地域外の子供の参加についてどうするか	

第8号様式 別紙1

事業実績調書

グループ名（ 高齢者支援 ）

事業内容（必要に応じて欄の大きさを変えてください。）

(1) 事業の名称	高齢者支援事業
(2) 事業内容・結果（実施場所、方法、参加人数等を具体的に記載。）	
・花壇・庭の除草（定光寺町9/11） ・日常品買い物代行（下半田川町 4/9, 8/21） ・側溝掃除（下半田川町5/4）	
(3) 事業の成果	
・独居高齢者の声掛け見守りができた、 ・独居高齢者の買い物代行ができた ・高齢者宅花壇と庭の草取りができた	
(4) 事業の実施における問題点や課題	

第8号様式 別紙1

事業実績調書

グループ名（ 環境美化 ）

事業内容（必要に応じて欄の大きさを変えてください。）

(1) 事業の名称	環境美化事業
(2) 事業内容・結果（実施場所、方法、参加人数等を具体的に記載。）	
▶掛川地域内7か所の花壇に年2回花苗を植えた 花苗 6月 ベゴニア 定光寺町 400株、下半田川町 300株 花苗12月 ビオラ 定光寺町 400株、下半田川町 300株 ▶環境整備作業として掛川地区のごみ拾い作業を行った 6/10 1/21 ▶定光寺直入橋周辺の草刈り作業 7/15 草刈り作	
(3) 事業の成果	
▶潤いある環境作りができた ▶屋外行事のため参加者同士の親睦場所になった ▶植栽を通して花に興味を持っていただけるようになった	
(4) 事業の実施における問題点や課題	
▶イノシシ被害にあい残念なところもあったため対策を考える	

第8号様式 別紙1

事業実績調書

グループ名（ コミュニティ ）

事業内容（必要に応じて欄の大きさを変えてください。）

(1) 事業の名称	コミュニティ
(2) 事業内容・結果（実施場所、方法、参加人数等を具体的に記載。）	
・笛まつりは不作のため中止した。 ・広報グループとの合同会議を開催（7/10, 8/30） ・「掛川の生き物と風景」の冊子を300部発行、全戸及び関係機関に配布した。 ・「交流フェスタ2023 in パルティセト」に参加（7名） ・各所史跡見学とウォーキングを掛川公民館と協働で行った。 第1回11/4 徳川義直公廟所修繕工事見学 第2回 12/2 「古道」を歩く ・学校および両町の各種団体行事への参加とその運営に協力した。	
(3) 事業の成果	
・古道が整備されてウォーキングができるようになった ・2回の合同会議（それぞれ15～20名参加）を開催して「掛川の生き物たちと風景」の冊子を発刊することができた。 ・徳川義直公廟所修繕工事見学では、普段見ることができない場所を見ることができた。 ・交流フェスタでは、「掛川の生き物と風景の冊子」展示して、掛川の良さを知ってもらった	
(4) 事業の実施における問題点や課題	
・コロナ禍で笛まつり（4/23）を中止した ・仕事を持った若い人の活動参加がなかなか難しく魅力ある活動の発掘が課題 ・固定化した活動に柔軟性を持たせることができるか？人材が限られているだけに難しさを感じる	

